

2024年9月吉日

関係各位

ピンクシャツデー2025 神奈川推進委員会
代表推進委員 山崎 美喜子

ピンクシャツデー2025 in 神奈川 ～「いじめストップ！」ワールドアクション～ 実施企画書

ピンク色を身に着けて「いじめストップ！」の意思表示をとるアクションはカナダのふたりの高校生から始まりました。今では世界180か国以上に広がっています。

横浜の同じ中学で生徒2人が相次いで自殺していたことを受け、2024年3月、いじめを受けたと訴えていた生徒についての調査報告を第三者委員会が公表し、いじめとの因果関係が認定されました。生徒の命を懸けたSOSがようやく届いたともいえます。不安を安心に。ゼツボーを希望に。子どもたちのつらさ・苦しさがいち早く受容される地域社会へとピンクシャツデー神奈川推進委員会は本活動に取り組んでいます。多くの方々のご協力とご支援をいただきながら、子どもたちに勇気と希望のエールを送ってまいります。

NPO、企業や団体、県や市町村、商業施設等が一体となったアクションは神奈川モデルとされ、全国でも注目されています。誰ひとり取り残さない神奈川となるよう更にアクションを広げていきます。皆様のご協力をお願いいたします。

■実施期間■ 2025年2月1日～2月28日（ピンクシャツデー期間）
2025年2月26日（水）（ピンクシャツデー・2月最終水曜日）

■目的■ 多様性を認め合い、共に生きるいじめのない神奈川、いじめの傍観者にならない神奈川の実現に向け、「ピンクシャツデー2025 in 神奈川」の取組みを社会に発信し、広く普及することを目的とする。

■取組体制■

<推進委員会構成員> 別添のとおり

<特別顧問・参与>

特別顧問 行政の長に就任依頼予定

※前年度実績：県知事 横浜市長 川崎市長 相模原市長

県議会議長 横浜市議会議長 川崎市議会議長

相模原市議会議長

県教育委員会教育長 横浜市教育委員会教育長

川崎市教育委員会教育長 相模原市教育委員会教育長

参与 経済団体等の長に就任依頼予定

※前年度実績：神奈川県同友会 神奈川県経営者協会 横浜銀行協会
神奈川県商工会議所連合 神奈川県商工会連合会
神奈川県生産性本部 神奈川県中小企業団体中央会

<事務局> 認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド

■後援■ 神奈川県 神奈川県教育委員会などに申請予定（前回実績 70 団体）

■予算■ 別添のとおり

■事業方針■

～昨年に引き続きファイナルアクションに向けて様々な活動を展開していく～

- ・ イベント当日は N. U. ミニライブの他、紙芝居等、通行人に足を止めていただけるような演出を工夫する。
- ・ 展示イベントは前年同様に行う。
- ・ いじめをテーマとしたオンラインセミナーをピンクシャツデー推進委員会共催とし、2025. 1. 18 に実施する。

■取組目標■

- (1) 県域へ広げる。
- (2) 学校や子ども支援活動団体等への浸透を図る。
- (3) サポート企業等を発掘・創出する。
- (4) 活動費用確保のために協賛、寄付を募る。

■主な事業内容■

1. パネル展及び N. U. によるステージ「ピンクシャツデー2024 in 神奈川」を開催する。
～「いじめストップ！」ワールドアクション～ ※ピンクシャツデー当日イベント
日時 2025 年 2 月 26 日（水）13：00～18：00
場所 新都市プラザ（横浜駅東口地下 2 階）
内容 ・ いじめの現状を伝える資料、人権作文コンテスト横浜市大会入選作品
各地のピンクシャツデーの取組みの紹介 等
・ アコースティックデュオ N. U. のお 2 人にピンクシャツデーテーマ曲を歌っていただく。
2. 県域へ広げる
 - ① 市町村、市長会、町村会に協力を要請する。
 - ② 建物等のライトアップを県域に拡大する。
 - ・ 横浜市：横浜三塔「神奈川県庁本庁舎、横浜市開港記念会館、横浜税関」
横浜市庁舎、コスモワールド観覧車、マリインタワー

ランドマークタワー、ハンマーヘッド 等

- ・川崎市 : 川崎市庁舎
 - ・鎌倉市 : 大船観音寺
 - ・藤沢市 : 江の島シーキャンドル
 - ・茅ヶ崎市 : 茅ヶ崎サザンC
 - ・小田原市 : 小田原城
 - ・横須賀市 : ティボニエ邸
- ③ 地域の活動団体等の取組みへの協力や連携を推進する。
- ・商業施設等のデジタルサイネージやポスター掲示等
横浜駅西口エリア、横浜東口エリア、みなとみらい地区など
 - ・交通機関等でのデジタルサイネージやポスター掲示等
 - ・オリジナルチャリティーグッズの販売等
事務局での販売、横浜駅周辺の百貨店等の店頭販売、
県内各地での店頭販売の取扱いの推進など
- ④ 地域の主体へ働きかける（商工会議所、青年会議所など）
- ⑤ 神奈川県青少年課をはじめとする行政（オブザーバー、協働パートナー）と協調
- ⑥ SNS 活用の強化を図る。
- ・神奈川子ども未来ファンド HP、Facebook、Instagram、x（旧 twitter）にて発信
 - ・ピンクシャツデー神奈川公式サイト
<https://pink-shirt-day-kanagawa.com/>

3. 学校や子ども支援活動団体等への浸透を図る。

- ① 「いじめ」をテーマとしたセミナーを開催する。
（神奈川子ども未来ファンドとの共催）（教育関係者・助成団体等の参加を推奨）
子ども未来セミナー第3回（オンライン開催）
ライブ配信：2025年1月18日（土）14：30～16：30
講師：小森 美登里氏／NPO 法人ジェントルハートプロジェクト理事
成田 洋樹 氏／神奈川新聞報道部記者（教育担当）兼論説委員
- ② 神奈川県内の学校等へポスター・チラシを送付し、掲示を依頼する。
- ③ 学校等向けの情報として、取組事例や小学校低学年向けのツールを無料提供する。
- ④ 学校等の取組状況や意向を把握し、次年度への参考とする。

4. サポート企業等の発掘・創出を進める。

- ① 後援団体を拡充する。
- ② 協賛協力企業等を拡充する。
- ③ ピンクシャツデー後も情報提供等の関係を継続し、信頼関係を維持発展させる。

(お問い合わせ) ピンクシャツデー2025 神奈川推進委員会事務局
(特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド)

高宮、黒野、野北

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL&FAX: 045-212-5825 E-mail : info@kodomofund.com URL : <https://www.kodomofund.com>